

平成 30 年度 大気中のアスベスト大気濃度測定結果について

表 1 一般環境大気中のアスベスト測定結果

地域分類	測定地点	総繊維数濃度 (本/L) (位相差顕微鏡法)	
		地点 1	地点 2
住宅地域	早良区祖原	0.088	0.15
	南区塩原	0.088	0.070
商業地域	中央区天神	0.070	0.088
準工業地域	博多区吉塚	0.10	0.088
幹線道路沿線地域	博多区千代	0.088	0.10

※WHO の環境保健クライテリア 53 (1986) : 石綿及びその他の天然鉱物繊維が人の健康に及ぼす影響を総合的に評価したもので、「世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は 1~10 本/リットル程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低い」とされている。

※測定結果は、世界保健機構 (WHO) の環境保健クライテリア 53 (1986) と比べて低い。

※総繊維数濃度：アスベスト以外の繊維も含む全ての繊維状粒子濃度の合計で、位相差顕微鏡法で測定。

表 2 アスベスト除去等工事の測定結果

工事届出件数 (件)	測定件数 (件)	総繊維数濃度 (本/L) (位相差顕微鏡法)			総繊維数濃度が 10 本/L を超過し た件数 (件)
		最小値	最大値	幾何平均値	
134	85 [*]	0.056 未満	81	0.20	1

※アスベスト飛散の恐れがある作業内容の工事 85 件について、各工事現場の敷地境界 (風上・風下) 等各 2 地点 (計 170 地点) で測定を実施。

表 3 上記工事で、総繊維数濃度が 10 本/L を超過したものの電子顕微鏡法による確認結果

測定日	位相差顕微鏡法	電子顕微鏡法	アスベスト 繊維数濃度 (本/L)
	総繊維数濃度 (本/L)	アスベスト繊維の割合 (%)	
H31. 1. 18	81	クロシドライト 97	78

※【目安】大気汚染防止法に基づく特定粉じん発生施設 (アスベスト製品製造施設等) の敷地境界基準：アスベスト繊維数濃度で 10 本/L